



タキイ研究農場
かわにし たか あき
河西 孝昭

もっと活用したい！手軽で商品性の高い つるなしインゲン 「^{こい}恋みどり」の魅力

健康野菜として広く親しまれているインゲンは、消費需要が安定し、市場価格も比較的高値で推移しています。近年、料理の彩り用として、色ツヤがよく、見栄えのするものが市場で好まれる傾向にある中、今回ご紹介する「恋みどり」は、まさに市場要求に合致した、商品性の高い品種です。また、莢形質だけでなく、ほかにも魅力的な特性もっているので、もっとさまざまな場面で活用してはいかがでしょうか。



「恋みどり」を生かすポイント

市場性と収量性が魅力

最大の特長は、従来品種にはない極濃緑の莢色をもつことです。莢の長さ約14~15cm、太さ約8mmと、このところ市場で人気のスリムな莢形で、莢ぞろいにもすぐれるため、高い市場性があります。

草姿は立性で、光が株全体に当たりやすいことから、着莢力が向上し、くず莢の発生も少なく、収量性を高めることが期待できます。

省力性を生かして 新たな輪作体系を確立

つるなし種であることから、煩雑な

管理作業が不要で、あまり手を掛けずに栽培することができます。

また、適期栽培では播種後54日程度の短期間で収穫できるため、基幹作物の裏作や、圃場の空いたスペースを活用して栽培することができます。容易に輪作体系に組み込むことが可能で、圃場の生産性向上にもつながります。

直売所向け出荷にも最適

少量多品目出荷を目指す直売所向けの栽培では、せまい面積に短期間の栽培でも、まとまった収量を望むことができます。

収穫後、急激に鮮度が低下し、傷みやすいインゲンは、直売所で人気の野

菜です。莢色が濃くてみずみずしく見える「恋みどり」は、店頭で消費者の目をぐっと引きつけることでしょう。

抑制栽培や施設栽培でも 能力を発揮

立性草姿であるため、開花着莢期に日照不足に陥りがちな抑制栽培や施設栽培においても、既存品種に比べて高い秀品性を示します。この特性をうまく活用し、これらの作型に導入することで、彩り野菜の入荷量不足によって普段よりも高値で取り引きされる冬場に、市場性にすぐれたインゲンを出荷することができます。

「恋みどり」上作のコツ

●播種

発芽の最適地温は20~25℃です。地温が13℃以下や30℃以上での播種は避けましょう。

●初期生育

小粒種子の「恋みどり」は、初期生育がやや緩慢です。土壌の乾燥過湿を避け、順調な根張りを促します。

●ストレス回避

インゲンは根が傷みやすいため、マルチ資材などを用いて、土壌水分を均一に保つことが重要です。

●肥培管理

インゲンは開花期前に求肥力が急激に強まるため、それにあわせて追肥を行います。

●開花期

多めの灌水で適湿を保ち、莢の曲がりや短莢を防止します。

●「恋みどり」栽培適期表

| 栽培型 | 10m | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 |
|---------|-----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|
| ハウス | ● | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| トンネル | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中間・暖地露地 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冷涼地露地 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハウス抑制 | | | | | | | | | | | | | | | | |